

山はいつも、
今をやりきることを
求めてくる

野口

Ken
Noguchi

健

エベレストや富士山の清掃登山を軸に、
さまざまな環境問題と向き合ってきたアルピニストの野口健氏。
明るく本音で語る裏には、山から教わった圧倒的なリアリティーがある。

富士山の 新たな守り方を探る

1999年、25歳の世界最年少記録で
7大陸最高峰を制覇した。その後、エベ
レスト(チョモランマ)の清掃登山に取
り組み、それは富士山の清掃活動へと広
がった。小笠原の自然を守る東京都レン
ジャーや、富士山レンジャーの提唱者で
あり、自らも名誉隊長を務める。
今、力を注ぐのが世界文化遺産に登録
された富士山の保護の枠組みづくりだ。
今夏に上梓した『世界遺産にされて富士
山は泣いている』(PHP新書)では、文
化遺産登録の際にユネスコの諮問機関
から勧告された「保全状況報告書」の策
定が進まない状況を取材。登録ありきで
進められた取り組みや、富士山利権

の実態などを明らかにしつつも、自然保
護と観光の両立をいかに進めるべきか
を提言している。

「富士山が世界遺産に登録された時は、
早過ぎたと思っていました。富士山を守
る写真真がないなかで、登録されてし
まった。しかし、ものは考えようで、報告
書の作成という宿題をもらったことで、
いろいろな課題への取り組みが始まり
ました。自然か観光か、どちらか一方の
視点で考えるのではなく、日本にとって
の富士山の多様な楽しみ方と守り方が
できればいい」

こうした前向きで明るいリアリティー
こそが野口さんの魅力なのだろう。誰彼
にも分け隔てなく本音で話すので、事務
所スタッフにたしなめられることもある、
と笑う。だが厳しい山の世界を知った者

だけがたどり着ける明るいうリアリティー
というものがある。

本来の自分へと軌道を 修正する山行

現在でも年に2回はヒマラヤに籠も
る。「登山家は、最も厳しい状況のなかで
暮らせる人間ですが、下界」にいると
すぐに日常の感覚に引き戻される」。

講演で全国を回る。手配されたグリー
ン車を当たり前だと思っていたのか、た
まさか自由席になり、「椅子が固いなあ、
と思った瞬間に自分を恥じました」。

真っ直ぐ生きているつもりでも、微妙な
ズレやブレが生じてしまっているのだ。
ヒマラヤでは悪天の時は、テントの中
で何日も耐えなければならぬ。考える
ことしかやることがない。いつしか独り
言で自分と話している。登攀中には雪深
に登山者の凍死体を見ることが珍しく
ない。そこで、自分は生きたい、と強烈に
覚醒するという。

「人は、死を感じないと生を感じずらい
生き物なのかもしれません。ヒマラヤに
いると本来の自分へと軌道が修正され
るのが分かる。それをものすごく大事に
しています」

だから講演で中高校を訪ねた際など
に、「上手に成功する方法はありませんか」
と質問されると困る。それを読めば必ず
成功するような秘伝書はないし、読んだ
ところで成功するとは限らない。登山で
も、一気に駆け登った者ほど事故を起こ
しやすい。山頂で「万歳」を叫ぶ姿は格
好良いが、そこに至るには何か月もかけ
た地道な作業がある。

「悪天候に耐え、じつくりと積み上げて
いくのが登山であり、人生も同じだと思
います。いつまで清掃登山をやっている
つもりかと聞かれたり、自分でも飽きて
しまうことがあります。でも今やってい
ることをやりきるこの大切さは、やは
り山から何度も教わるのです」

それこそが先駆者ならではの愚直さで
あり、魅力だと感じさせてくれる人だ。



野口 健(のぐち けん)

1973年アメリカ・ボストン生まれ。植村直己の著書に感銘を受け、登山を始める。99年エベレスト(ネパール側)の登頂に成功し、7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。以降、エベレストや富士山に散乱するごみ問題に着目して清掃登山を開始。2007年エベレスト(チベット名:チョモランマ)をチベット側から登頂に成功。近年は清掃活動に加え、地球温暖化による氷河の融解防止にむけた対策、日本兵の遺骨収集活動などにも力を入れている。主な著書に『世界遺産にされて富士山は泣いている』(PHP新書)、『それでも僕は「現場」に行く』(PHP研究所)、『落ちこぼれてエベレスト』(集英社文庫)、写真集『野口健が見た世界 INTO the WORLD』がある。公式ウェブサイトは<http://www.noguchi-ken.com/>

Contents

- 02 スペシャル・インタビュー【先駆者たち】
野口健 (アルピニスト)
- 04 Special Feature
**「10年先のスペック」を
今に届ける
Kawasakiのモーターサイクル**
- 09 時代を切り拓く【Epoch Maker】
産業用ロボット
- 10 【TechnoBox】
**高効率旋動式破砕機
ZIコーンクラッシャ**
- 12 【川に見る・日本の四季】
会津若松から「秋」を追う
- 14 HOT TOPICS

【表紙】

ピットから走り出すカワサキのモーターサイクル(三重県・鈴鹿サーキットにて)

→詳しくは「Special Feature」(4~8ページ)をご覧ください